

2021 年度

## 事業計画書

自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日

### I. 事業計画書

#### 1. 事業方針

2021 年度は厳しい収支状況になることが予想されるが、当財団の 2 つの公益事業の内容を大きく変えず質を保つために、運営費、設備投資とも例年並みの予算とする。

##### (1) 公益事業 1 および公益事業 2 について

###### ① 公益事業 1

一般研究助成、出版助成、事業助成、褒賞、調査研究の実施および研究広報誌「アド・スタディーズ」の発行を継続する。

###### ② 公益事業 2

「アドミュージアム東京」は 3 つの事業活動（アーカイブ活動、公開活動、発信活動）を連携させて一体的な運営を継続し、コロナ禍における柔軟な対応を行う。

(2) 事業費の概要

2021年度の公益事業1および公益事業2の事業費を以下の通り予算計上する。

(単位：千円)

	事業内容	2021年度 予算額	2020年度 予算額	増減	
公益事業1	一般研究助成	40,440	36,283	4,157	*1
	出版助成	2,460	2,490	△30	
	事業助成	5,320	4,920	400	
	褒賞	6,890	6,290	600	
	調査研究	11,000	11,800	△800	
	研究広報誌「アド・スタディーズ」	30,062	29,810	252	
	ホームページ運営	0	1,090	△1,090	*2
	事業管理	340	340	0	
		<b>公益事業1 計</b>	<b>96,512</b>	<b>93,023</b>	<b>3,489</b>
公益事業2	アーカイブ（資料収集・調査・整備など）	36,505	34,055	2,450	*3
	公開（展示・ライブラリー）	41,870	52,910	△11,040	*4
	発信（広報・情報発信）	10,914	13,041	△2,127	*5
	事業管理・運営	66,054	66,717	△663	
		<b>公益事業2 計</b>	<b>155,343</b>	<b>166,723</b>	<b>△11,380</b>
	<b>合計（公1＋公2）</b>	<b>251,855</b>	<b>259,746</b>	<b>△7,891</b>	

- ・公益事業1は人件費関連 27,085千円、減価償却費 7,837千円、計 34,922千円を含め、**合計131,434千円**
- ・公益事業2は人件費関連 71,872千円、賃借料 124,643千円、減価償却費 79,477千円、租税公課3,658千円、計 279,650千円を含め、**合計434,993千円**  
**事業費合計566,427千円**を予算計上する。

主な増減要因

- \*1 助成支援システムの稼働により保守料が発生する
- \*2 ホームページの保守料の計上を法人会計に変更する
- \*3 国内広告賞の延期により受入数が2年度分になる
- \*4 オリジナル企画展の減少分とD&AD2020およびOneShow2020の延期による増加分の差額
- \*5 ミュージアムグッズの無償提供の基準と広告計画を見直す

## 2. 公益事業1 事業計画

公益事業1は、広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーションなどに関連する分野の「研究助成事業および褒賞・調査研究・情報提供」を行う。

2021年度は事業費として、96,512千円を予算計上する。

### (1) 研究助成事業

#### ① 一般研究助成

2021年度 第55次研究助成は、常勤研究者26件 大学院生14件、合わせて40件の応募があった。2月24日開催の選考委員会で審査した結果、14件（常勤研究者8件、大学院生6件）の研究が選出された（別表1）。

2021年度の助成件数は、昨年度からの継続研究※（常勤研究者4件）を含め、常勤研究者の部12件、大学院生の部6件を予定する。

※継続研究：2年間で行われる研究

【応募件数】（ ）内は2020年度

常勤研究者の部	26件	(20件)	大学院生の部	14件	(12件)
単年度研究	9件	(8件)	単年度研究	9件	(11件)
継続研究	17件	(12件)	継続研究	5件	(1件)
[うち指定課題	17件]		[うち指定課題	7件]	

【採択予定件数】（ ）内は2020年度

常勤研究者の部	8件	(6件)	大学院生の部	6件	(5件)
単年度研究	2件	(2件)	単年度研究	4件	(5件)
継続研究	6件	(4件)	継続研究	2件	(0件)
[うち指定課題	8件]		[うち指定課題	3件]	

<2021年度の指定課題>

課題1 消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究

課題2 広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発  
につながる他領域における関連研究

課題3 パンデミックがもたらしたインパクトに関する研究

(別表1)

## 2021年度 第55次 研究助成内定者一覧表

[常勤研究者の部]

(単位：千円)

代表者氏名	大学・学部	職位	研究テーマ	助成金額
【指定課題3】 永井 暁行 他1名	金沢星稜大学 教養教育学部	准教授	“ウィズコロナ・ポストコロナ時代”の友人関係におけるソーシャルメディアの機能	2,770
【指定課題3】 広田 すみれ 他1名	東京都市大学 メディア情報学部	教授	演劇等の配信コミュニケーションでの参加型の場の作り方と視聴者の認知や関係性の分析	1,779
【継続研究】 【指定課題1】 須賀 万智	東京慈恵会医科大学 医学部医学科	教授	健康無関心層に対するヘルスコミュニケーション戦略に関する実証的研究	1,000
【継続研究】 【指定課題1】 田頭 拓己 他3名	一橋大学大学院 経営管理研究科	専任 講師	ソーシャルメディアにおける炎上、購買行動と企業対応に関する理論・実証的研究	1,696
【継続研究】 【指定課題2】 小濱 朋子 他2名	静岡文化芸術大学 デザイン学部	教授	商品の「見つけにくさ」を可視化する売り場デザインの研究 ～視覚特性に着目して～	1,471
【継続研究】 【指定課題3】 勝又 壮太郎 他1名	大阪大学大学院 経済学研究科	准教授	危機がもたらす市場の変容とレジリエンス	2,000
【継続研究】 【指定課題3】 鎌田 裕美 他1名	一橋大学大学院 商学研究科	准教授	With コロナ時代の観光地と住民のコミュニケーション ～住民の地域アイデンティティと態度の観点から～	2,052
【継続研究】 【指定課題3】 関谷 直也 他2名	東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター	准教授	コロナ禍の社会心理 ～マーケティング・コミュニケーションのためのリスク・差別・インフォデミック等の分析～	3,000
計8件				15,768

継続研究は初年度の金額を記載

## [大学院生の部]

(単位：千円)

氏名	大学・学部	課程	研究テーマ	助成金額
大伴 宗弘	一橋大学大学院 経営管理研究科	博士後期 課程	消費国効果 (Country of Reputation) ～日米における相手志向と製品志向の比較～	492
彭 永成	京都大学大学院 教育学研究科	博士後期 課程	ブライダル広告にみる結婚イメージの多様化 ～結婚情報誌『ゼクシィ』と公式サイト「ゼクシィ.net」の比較メディア論～	500
【指定課題2】 石橋 敬介	筑波大学大学院 ビジネス科学研究科	博士後期 課程	Web 調査による計画・非計画購買率の推定精度の改良	500
【指定課題2】 宮下 佳子	筑波大学大学院 ビジネス科学研究科	博士後期 課程	食品ロス削減に資するマーケティング・コミュニケーション	500
【継続研究】 高田 紘佑	ケルン体育大学大学院 スポーツエコノミクス・マネジメント研究科	博士後期 課程	スポーツ観戦を活用した訪日マーケティングに関する研究 ～Authentic な旅行経験に着目して～	375
【継続研究】 【指定課題2】 石井 悠紀子	東京大学大学院 教育学研究科	博士後期 課程	広告中における涙が消費者の商品態度及び潜在意識に与える影響 ～他者が涙を流した場合と自己が涙を流した場合に着目して～	500
計 6 件				2,867

2020年度研究助成の成果提出は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により13件のうち2件(常勤研究者1件、大学院生1件)が遅れる見込み。提出のあった助成研究に関しては成果報告会をオンラインあるいは対面で実施する。

研究助成の成果を広く社会に還元するため、研究の要旨を冊子にまとめ大学図書館や研究者などに配付するほか、ホームページ上で公開する。報告書の全文は「アドミュージアム東京」ライブラリーにおいて一般の閲覧に供する。

2021年度は、研究助成の応募や助成中の手続き、選考委員による採点、また情報共有をウェブ上で行うシステムを稼働する。

2021年度は一般研究助成費として、研究助成金 25,410 千円（常勤研究者 15,768 千円、大学院生 2,867 千円、2020年度からの継続研究 4 件のうち 3 件※ 4,943 千円、研究期間延長 2 件 1,832 千円）、審査費 4,540 千円、研究助成支援システム保守費 6,160 千円、募集経費・要旨集作成費他 4,330 千円、合計 40,440 千円を予算計上する。

※ 1 件は 2021 年度内に成果の提出がないため予算計上しない

#### 1. 出版助成

広告・マーケティング領域の優れた書籍の出版を助成する。募集は 10 月と 3 月に分けて行い、選考委員の査読により助成先を選出する。

2021 年度は出版助成費として、審査費を含め 2,460 千円を予算計上する。

#### 2. 事業助成

広告・マーケティング関連団体が実施する事業のうち、当財団の事業目的に合致するものに助成する。2021 年度は、1 月 25 日開催の事業助成審査委員会で審議を行い、9 件の事業が選出された（別表 2）。

2021 年度は事業助成費として、審査費を含め 5,320 千円を予算計上する。

(別表2)

## 2021年度 事業助成内定事業一覧表

(単位：千円)

件名	主催	助成額	備考
2021年度全広連夏期広告大学	全日本広告連盟	900	3地区
2021年度全広連夏期広告大学 オンライン共有事業	全日本広告連盟	900	3地区
2021年度全広連秋のシンポジウム	全日本広告連盟	600	2地区
2021年度全広連秋のシンポジウム オンライン共有事業	全日本広告連盟	600	2地区
日本広告学会第52回全国大会	日本広告学会	300	
日本広報学会第27回研究発表全国大会	日本広報学会	300	
JAC AWARD 2021 若手映像制作者育成支援	日本アド・コンテンツ 制作協会	300	
Student Innovation College (Sカレ)	Student Innovation College	600	秋カンファレンス 冬カンファレンス
関東学生マーケティング大会	関東学生マーケティ ング大会	600	中間発表 最終発表
	計9件	5,100	

※助成額は1件(1地区)30万円以内

### (2) 褒 賞

#### ① 「助成研究吉田秀雄賞」

2020年度の助成研究の中から、特に優れた成果を第19回「助成研究吉田秀雄賞」として褒賞する。予備審査および本審査を経て、吉田秀雄賞、準吉田秀雄賞、奨励賞の各賞を選出し、贈賞式は11月に開催を予定する。

また大学院生のうち選考委員から推薦のあった研究者に対して、国際発表の費用を支援する。

## ② 「吉田秀雄国際学術賞」

広告・マーケティング研究分野において国際的な業績を挙げた研究者を顕彰する「吉田秀雄国際学術賞」を実施する。研究者の意欲を高め、我が国の国際競争力の向上を目指す。受賞者は、財団が指定する以下の国際学術誌で論文を発表した研究者とする。贈賞式は「助成研究吉田秀雄賞」と併せて行う。

### 指定国際学術誌

- ・ Journal of Marketing (American Marketing Association)
- ・ Journal of Marketing Research (American Marketing Association)
- ・ Marketing Science (Institute for Operations Research and the Management Sciences)
- ・ Journal of Consumer Research (Association for Consumer Research)

2021年度は褒賞費として、審査費を含め **6,890千円**を予算計上する。

## (3) 調査研究

研究支援の一環として消費者調査を継続する。助成対象者の研究に応じた個別カスタマイズ調査を実施するとともに、それに先行して実施する共通調査においては生活構造、生活意識、購買意識、購買・使用行動などの項目を聴取し、消費者と社会の動向について定点観察を行う。

財団独自のパネルを組むことにより特定のモニターを経年的に追跡調査していく。

調査結果データはオープンデータベースとしてホームページ上で公開する。併せて分析事例を「アド・スタディーズ」で紹介し、活用の促進に努める。

2021年度は研究支援のための消費者調査費として、**11,000千円**を予算計上する。

## (4) 情報提供

広告・マーケティング領域の研究広報誌「アド・スタディーズ」を年4回発行する。特集企画は引き続き、社会・経済の変化に伴うマーケティング・コミュニケーションの新しい潮流を見据えつつ、広告・マーケティング研究に寄与する未来志向のテーマを投じていく。

発行部数は各号約1,900部を予定し、研究者、助成対象者、広告関係団体、企業、プレスなどに配付すると同時にホームページ上に掲載する。

2021年度は「アド・スタディーズ」の発行費として、**30,062千円**を予算計上する。



### 3. 公益事業2 事業計画

公益事業2は、広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーションなどに関連する分野の「資料収集・保存・公開および普及・啓発事業」を行う。

2021年度は事業費として、155,343千円を予算計上する。

#### (1) 「アドミュージアム東京」の事業方針

##### ① アーカイブ（資料収集・調査・整備など）活動

アーカイブ活動は「コレクション」「キュレーション」「データベースシステム」の3つの要素に整理し、以下の活動を行う。

現在、所蔵している資料の総数は 328,393 点（2021年1月末現在）で、そのうち、広告資料 221,165 点、図書資料 28,135 点 合計 249,300 点を館内のデータベース検索端末で公開している。

##### a. コレクション（資料の整備など）

- ・ 広告資料は企業 PR 誌の一部約 5,000 点を優先して再整備する。国内外の広告賞受賞作品（ACC、TCC、広告電通賞、OneShow、D&AD、カンヌ）は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部受入が遅延した 2020 年度分と合わせて約 2,300 点を登録し、公開する。
- ・ 図書資料は引続き約 700 点を受入・登録し、ライブラリーで公開する。目次検索を容易にするため、前年度同様主要な和雑誌約 60 タイトルは、雑誌記事まで登録する。
- ・ アウトソーシングを引き続き積極的に活用し、広告資料の整備を推進する。

##### b. キュレーション（資料の収集・調査など）

- ・ 広告資料は、江戸期、大正期、1980 年代を中心に、古書店などと連携して引き続き収集を進める。また、常設展示・企画展示で得たキュレーションの視点を活かし、資料の充実を図る。
- ・ 図書資料は国内の関連書籍の網羅的な収集に加え、ライブラリーで展開する「〇〇の本棚」と広告コミュニケーション領域の広がり considering して収集する。
- ・ 資料活用の促進を図るため、広告資料の所蔵状況やライブラリーで蓄積したレファレンスの情報を積極的に外部に発信する。

- c. データベースシステム（システム管理）
- ・所蔵資料を管理する2つのデータベース（広告資料用「デジハブ」、図書資料用「BLABO（ブラボー）」）は、機能改善による効率化を図る。

2021年度はアーカイブ（資料収集・調査・整備など）活動費として、  
**36,505千円**を予算計上する。

## ② 公開（展示・ライブラリー）活動

2020年度は、新型コロナウイルス感染の拡大の影響による各広告賞の順延や中止および「アドミュージアム東京」の開館運営の制限を受け、企画展の開催スケジュールを変更した。2021年度はコロナ禍における柔軟な対応をしつつ、コロナ後も見据えて活動する。

### a. 常設展示（Hall A）

デジタルコレクションテーブルへの資料を追加し、常設展示の中期的な展示計画の策定を行う。

### b. 企画展示（Hall B）

2020年度に開催予定であったD&AD Awards 2020とOne Show 2020を順延して開催するほか、オリジナルミニ企画展示および以下の国内外のクリエイティブ・アワードを開催する（「公開」年間スケジュールは別表）。

- ・TCC 賞展 2021

共催：東京コピーライターズクラブ

- ・世界のクリエイティブがやってきた！展

D&AD Awards 2021

共催：D&AD（ロンドン）

One Show 2021

共催：The One Club for Creativity（ニューヨーク）

Cannes Lions 2021

共催：日本経済新聞社

### c. ライブラリー

「〇〇の本棚」コーナーでは、Hall Bで開催する企画展との連動展示のほか、クリエイターの選書による展示を開催する。

d. クリエイティブ・キッチン

2021年度は館内の展示に合わせ、オンラインを活用したトークイベントを実施する。また、クリエイティブ・キッチンのスペースを活用するため、次年度以降の中期的な計画を策定する。

2021年度は公開（展示・ライブラリー）活動費として、41,870千円を予算計上する。

● 「公開」年間スケジュール（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常設展示 (Hall A)	<div style="text-align: center;">                     展示の部分入替                      適宜メンテナンス・調整                 </div>											
企画展示 (Hall B)	D&AD賞2020展 (4/1~5/29)	One Show2020展 (6/5~7/31)		ミニ企画展 (8/7~9/18)		TCC賞展 (10/2~11/13)		世界のクリエイティブがやってきた！展 (11/20~3/26)				
クリエイティブ キッチン	<div style="text-align: center;">                     ※トークイベント・セミナー等 随時開催                 </div>											

③ 発信（広報・情報発信）活動

リニューアルから3年が経過したため、アドミュージアム東京ホームページの全体的見直しを行い、より充実した情報提供ができるよう改善を図る。広報および利用者の利便性向上を目的にオンラインショップのトライアルを実施する。

2021年度は発信（広報・情報発信）活動費として、10,914千円を予算計上する。

④ 事業管理・運営

2021年度も、社会の情勢に合わせ、当面は開館時間の制限等を継続し、スタッフ・来館者の安心・安全のために柔軟な運営をする。

館内施設・設備の経年劣化防止のため、年に1回メンテナンスを実施する。

2021年度は事業管理・運営費として、66,054千円を予算計上する。